



一人ひとりが 買い物にはマイバッグなどを持参し 不要なレジ袋はもらわないようにしましょう！

長野県では、「レジ袋無料配布中止」を今年春に、食品スーパーを中心に県全域での実施を目指しています。

- 平成24年9月、長野県から、豊かな自然環境を守り地球の温暖化を防止するため、「レジ袋無料配布中止」について県民の皆さまのご理解と事業者の皆さまの参加と協力を求める提唱がありました。これは、関係者の賛同により、今年春を目途に、食品スーパーを中心に本県全域での実施を目指すものです。
- 私たちの誰もが、自分達の世代以上に良い環境を子どもたちや孫の世代に引き継ぎたいのではないのでしょうか。地球温暖化の影響が県内でも現れている今、一人ひとりが環境に配慮した行動を心がけ、ごみやCO₂（二酸化炭素）を出さない生活スタイルへの転換を図る必要があります。
- レジ袋は、軽い、薄い、丈夫、水を通しにくいことなどから、食品包装などに広く使われており、便利な日常品として私たちの生活に溶け込んでいます。長野県では、1年間におよそ2億6千万枚（※マイバッグ持参率50%で試算）のレジ袋が使用されています。
- 持ち帰ったレジ袋をどうしているか思い出してみましょう。そのままごみとして捨てたり、ごみを包む内袋として使用するなど、最終的にはほとんどが捨てられている実態があります。こうしたレジ袋の大量消費には、ごみの増加、石油資源の枯渇、CO₂の排出、自然界への影響など様々な問題があります。
- 長野県でマイバッグ持参率が90%になると2億8百万枚のレジ袋を減らすことができ、ごみに換算すると1,664トン（1枚あたり8gで試算）の減量となります。また、石油に換算すると原油で3,806キロリットルの節減になり、さらにCO₂に換算すると12,688トン（1枚あたり61gで試算）の削減になります。
- 今、私たちに必要なことは、一人ひとりが環境に配慮した行動を心がけ、ごみを出さない生活スタイルへの転換を図ることです。今まで何気なくもっていたレジ袋を断り、マイバッグなどを使うことは、その第一歩となります。
- 皆さん、買い物にはマイバッグなどを持参して、不要なレジ袋はもらわないようにしましょう。また、取組みを、家族へ、地域へ広げましょう。そして、レジ袋から生活全般へ3Rを広げましょう。
（3Rとは Reduce（リデュース）＝減らす Reuse（リユース）＝再使用 Recycle（リサイクル）＝再生利用）
- 当町としても、消費者団体等と連携・協力し、マイバッグ持参の取組みを進めております。町民の皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

献血は、最も身近なボランティア

献血のお知らせ

環境
保健係

病气やけがで血液を必要としている方がいます。また、冬は血液の不足する時期でもあります。たくさんの皆様のご協力をお待ちしております。

献血にかかる時間は、受付から採血後の休憩まで約40分。そのわずかな時間によって、大切な命を救うことができます。

移動採血車による献血が次の日程で行なわれます。

月 日 2月15日(金)
 受付時間 午後1時30分～3時30分
 会 場 立科町老人福祉センター 集会室
 持 ち 物 献血カード（手帳）



運転免許証や健康保険証など本人確認のできるもの

※薬を飲まれている方は、薬の確認をさせていただくことがあります。